

教科	音楽	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
無理のない自然な声の出し方で歌おう 「校歌」	1	表現するための基礎的な技能や奏法を身に付け、曲想を感じ取って表現する	パートの音域に応じた声の音色や響きと発声との関わりについて理解している。 音域や強弱に応じた発声や歌う姿勢などを身に付けている。	歌唱表現に関わる知識(パートの音域に応じた声の音色や響きと発声との関わり)や技能(音域や強弱に応じた発声や歌う姿勢など)を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
器楽 基本的な奏法を身につけよう 「ギター」 「アルトリコーダー」	7	基礎的な奏法を身につけて表現する。	楽器の音色と奏法との関わりを理解している。 創意工夫を生かした表現で演奏するための運指などの技能を身に付けている。	器楽表現に関わる知識(楽器の音色と奏法との関わり)や技能(運指など)を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
曲想を味わいながら合わせて歌おう 「合唱コンクールの曲」 「卒業式の歌」	11	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解する。 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。	曲想と全体の構成との関わりについて理解している。 全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う技能を身に付けている。	歌唱表現に関わる知識(曲想と全体の構成との関わり)や技能(全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う)を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
工夫して表現しよう 「リズムアンサンブル」	2	音符の長さ、強弱記号を理解する。 創意工夫を生かした表現で演奏するための技能を身に付ける。	音符の長さ、強弱記号を理解している。 創意工夫を生かした表現で演奏するための技能を身に付けている。	表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、表現を創意工夫している。	創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
鑑賞 オペラを味わいながら鑑賞しよう 「アイーダ」 西洋の伝統的な音楽の歴史をたどりながら、豊かな表現を鑑賞しよう。 「ブルタバ」 日本の伝統的な音楽や芸能の歴史をたどりながら、豊かな表現を鑑賞しよう。	12	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解する。 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解する。曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。	音楽の特徴と、物語の進行や登場人物の心情、舞台の表現との関わりについて理解している。 各時代の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 日本の伝統的な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。	鑑賞に関わる知識(音楽の特徴と、物語の進行や登場人物の心情、舞台の表現との関わり)を得たり生かしたりしながら、舞台芸術における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、舞台芸術における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
曲の形式を生かして歌おう 「花」 「荒城の月」	2	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解する。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。	曲想と形式や歌詞との関わりについて理解している。 音域や強弱に応じた発声、子音や母音の発音などを身に付けている。	歌唱表現に関わる知識(曲想と形式や歌詞との関わり)や技能(音域や強弱に応じた発声、子音や母音の発音など)を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。